

JA山口県山口統括本部



嘉川大葉生産グループの
岩脇さん（右）と矢野さん（左）



嘉川産直野菜生産者グループの
伊藤さん（後列左）、草賀さん（後列右）、
原田さん（前列左）、樋口さん（前列右）

生産者（団体）

○嘉川大葉生産グループ

安心・安全を理念に掲げ、生協店舗向けの大葉を作るために発足したグループで、現在3戸の生産者がいます。化学農薬・化学肥料を不使用にするために、有機質肥料で土づくりを行い、害虫を手で取り除くなど、安心して口にできる大葉の栽培に取り組んでいます。

こと全店（島田店を除く）で取り扱いをしています。

○仁保産直生産部会

旧仁保農協（現JA山口県）は県内でもいち早く「有機の里作り」と「産直」に取り組み、パイオニア的存在です。コープやまぐちと仁保農協とは、1987年に店舗との産直の取り組みを開始しました。

生協の産直に取組むため、産直部会を結成して農薬や化学肥料の使用を極力控えて栽培しています。いずみ店・どうもん店・小郡店・島田店に、新鮮な野菜を出荷しています。



2013年産直調印式

○嘉川産直野菜生産者グループ

1986年から宇部店の前身・上宇部店の朝市でこだわり野菜の販売を始め、34年間継続してこだわりの野菜を出荷していただいている生産者グループです。

長年有機肥料を使った土作りに取り組み「健康な野菜は健康な土作りから」をモットーに、生産者が苗や種を購入してから収穫まで、農薬を一切使わずに栽培しています（※）。

毎週火曜日と土曜日に宇部店で嘉川産直朝市を開催しており、毎回好評いただいています。

※嘉川産直野菜生産者グループが出荷している野菜に添付されている「エリア産直シール」には農薬散布回数が記載されている場合がありますが、生産者が農薬を使用したということでは無く、生産者が苗を購入した場合、育苗メーカーが育苗中に使用した農薬の散布回数（成分回数）を記入しています。